



編集 SEF事務局
 連絡先 045-312-8770
 E-mail SEF@arco.ne.jp

巻頭のことば 「エーゲ海旅行道中の話題 2題」 柏木 寛 理事長

その1 - 最近親しい仲間とエーゲ海からトルコ方面を旅してきました。ギリシャの古い遺跡は日本と異なり殆どが石の塊です。その表面に刻まれた歴史は長期保存に耐えられ今日に至っています。一方私達現代人はエレクトロニクスの発展と相俟って半導体メモリーに記録を残そうとしていますが本当に永久保存に耐えられるのか否か考え込みました。

その2 - 同行の法律に強い友人と道中色々の対話をしました。最近「コンプライアンス(法令遵守)」という言葉を目にしますが、間違った解釈で法令に違反しなければ何をしても良いと言う風潮があり倫理観の喪失や企業の不祥事等の弊害が出ています。法には不備もあり未整備の分野もあり、正しくは「法の持つ精神」即ち法が目指す社会的要請が理解され遵守されなければならないとの事です。

<p>9月度理事会より</p> <p>1、主たる事務所の再移転 本年6月の通常総会にて事務所移転が承認されましたが借用先の都合により近隣に再移転せざるを得なくなりました。10月26日予定の会員連絡会に先駆け臨時総会を開催し会員の承認を求めるとしました。</p> <p>2、黒澤理事の海外赴任について 黒澤理事が業務都合により10月から海外へ赴任されます。SEF理事の職はそのまま継続されます。</p>	<p>臨時総会・会員連絡会・会員懇親会の開催</p> <p>下記会議を開催しますのでご出席下さい。</p> <p>開催日 2005年10月26日(水) 開催場所 品川第2区民集会所</p> <p>1、臨時総会 15時30分～ 事務所移転に係る審議議決</p> <p>2、第6回会員連絡会 15時50分～ 最近の状況報告と意見交換</p> <p>3、懇親会 18時30分～ 自由討議と懇親 (別途開催案内を送付します)</p>
---	--

<p>事業報告</p> <p>(E&C事業部会) 担当 石田理事</p> <p>E&C事業の柱の一つとして海外法人向けの活動を検討してきました。ねらいは日本への事業進出を図ろうとしている海外法人を会費制の「海外企業会員」として契約を交わし、SEFが海外法人の求める各種サービスを提供しようとするものです。活動の起点となる海外法人向けの英文パンフレットが分科会会員各位の精力的な努力により完成し9月度理事会にて承認されました。次回会員連絡会にて概要説明を予定していますが「海外企業会員」勧誘に当っては会員の皆様の営業活動協力を是非お願い致します。</p>

<p>SEFサロン</p> <p>9月度 8月28日開催 (有楽町)</p> <p>テーマ「車内警報装置とATS装置並びにATC装置について」 講演者 元日信ソフト社長/日本信号常務 加藤 善高 氏</p> <p>JR西日本の列車事故により一躍クローズアップされた列車警報装置についてその歴史と技術的な内容が詳しく説明されました。真空管式の車内警報装置から始まりATS(自動列車停止)、ATC(自動列車制御)へと技術は進化し複雑化してきましたが、一方その技術を取り扱う管理者や技術者、運転手側の対応能力が遅れていないかと重い言葉での警告があり考えさせられました。</p>	<p>次回</p> <p>10月度は会員連絡会開催の為サロンは開催されません。 次回は11月16日(水)開催予定ですのでご出席下さい。</p>
---	--

<p>会員動向</p> <p>9月度は会員に動きはありませんでした。 会員数(10月1日 現在) 正会員 22名 準会員 1名 賛助会員 1社</p>	<p>引続き会員の増員を図ると共に新たに「登録会員」の概念を導入し新規引合案件に迅速に対応出来る体制づくりを目指しています。 次回会員連絡会にて説明を予定しています。</p>
--	--

